

清雲より

復刊「清雲」への追憶

この度の「清雲」発行にあたり、何か投稿しようと思っても感激が優先し文章になりません。「忘却の彼方へおぼろげな記憶を馳せると今昔が交錯し走馬燈が脳裏を走る。」と云うことでしょうか。

昭和27年、私は、母校である本校に奉職し、本校で39ヶ年の勤務を間もなく終えるところですが顧みれば「清雲」は、本校の機関誌と云われながら昭和30年の発行を最後に記録がありません。

このたびの「清雲」復刊は、当時を知る卒業生、教職員、学校関係者の方々は、当時の苦楽を思い出し感慨に耽ることでしょう。

ここで、「清雲」誌の命名について触れますと、本校の創立当時の校舎は、下弓削の山頂（通称三本木）にあった旧青年学校跡でした。現在地への完全移転は昭和29年4月で、これより実質、県立弓削高校の出発です。

山腹に段々畑状に幾棟もの校舎があり、その略々中心地に教務室があり、その隣に「清雲寮」と玄関口に大きな名札のかかった宿泊施設があり、部屋の中は、床の間、居間、炊事場、浴場が完備しており、当直の先生の宿舎となっていた。後に女子生徒の礼法室、宿泊実習生の宿舎にも使用された。特に夜は、師弟の集い場所となり、各種の激論が交わされた場所でもあった。現在は廃虚となり雑木林の中に浴場と炊事場跡のコンクリートが落葉の中に埋れている。激論場の名に縁み、機関誌「清雲」と名付けられ、生徒は競って投稿をしました。

今回、「清雲」の発行を提示下さった今井現校長先生、編集を担当される諸先生方に敬服の念で一杯です。私は、本校の卒業生であり職員で在りながら傍若無人で過ごした事を恥じ、今更のように反省しております。

本校は、今、全校あげての努力により、数多くの功績を内外に博めております。この良き伝統を先輩が守り、そして後輩に引継いでください。「清雲」も、また、本校機関誌として、校内あげて愛され、更なる隆盛を念じております。

（平成4年3月 教員）

卒業生に贈る言葉

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。3年前、中学生の面影を残しながら入学してきた皆さんが、もう卒業かと思うととても感慨深く感じます。

「いつも心に太陽を！」

最近、こういう題のドラマがありますが、そのこと

ではありません。私の好きな言葉で、こうしたいと心がけていることです。太陽がでている時は明るく、あたたかくなります。また、太陽に照らされていると輝いて見えます。そしてどんなにさびしく暗い夜でも、時間がたてば必ず太陽はのぼってきます。

これから先、落ち込むことがあるかも知れません。そういう時こそ、少し気持ちの切り替えをして心を明るくするよう心がけてみましょう。いいことも必ずやってきます。そしていつも心に太陽をもって、まわりの人も自分もあたたかくやさしく包みこんであげてください。

心も体も元気に自分の選んだ道を進んでいってください。

（平成6年3月 教員）

平成9年度の活動を振り返って

本年度は、平成5年の学科改編以来ずっと県に要望し続けていた産振棟がついに完成した。当初の要望どおりではないが、1階にデザイン・情報準備室、マッキントッシュ3台を使用するコンピューターグラフィック室、写真の現像やスクリーンの製版、インスタントレタリング制作をするスクリーン製版室、男女の更衣室、女子トイレ、2階には、塗装ブースやスクリーン、ビデオモニターテレビを完備した総合デザイン実習室、3階にはウインドウズ'95が36台設置された情報処理室が出来上がった。施設と共に、徐々に実習機器も整備され、来年度以降ますますその活用が期待される。

また、本年度科の行事として特徴的なことは、社会人講師活用事業を多く取り入れたことである。昨年度は、この活用事業を3回実施したのみであったが、今年度は、パッチワーク・フラワーアレンジメント・染色・サインプロダクト・セラミックデザイン等の様々な実技講習を13回も実施することができた。いずれの講習会も各分野で活躍され、豊かな経験と識見を有する専門家の方に来ていただき、指導内容の充実を図ると共に、生徒の専門科目に対する興味関心を高めることが出来た。

さらに、科の行事で一大イベントとしての「卒業制作&デザイン展」では、3日間で延べ425人もの方々に御来場いただくことが出来、多くの励ましの言葉をいただいた。外部で発表の場を持つことで生徒にとって良い刺激となり、学習活動の意欲を高めることが出来た。新聞等でも展示会の様子が報道され、地域へアピールできたのではないかと思います。（一部抜粋）

（平成9年3月 環境デザイン科教員）

2人の雑談 (デ3)

N「3年間あっという間だったなあ。」F「だよなあ……。でもこのクラス結構居心地良くなかった?皆仲良かったし。」N「えっ……。あ〜中学校の時とかと比べたら良かったかもしれなあ。そういえば文化祭、まとまって良いファッションショーが出来たよな。」F「うん。場所もガッコの体育館から文化センターに変わって、初めてのことばかりだったけどちゃんと協力出来たし。」N「でもその後うちら(生活コース)は大変だったわ〜。」F「そうそう、卒制展が1ヶ月後だったから、遅くまで頑張ったよな〜。」N「花土Tに言いあげられながら〜。」F「ぶち言われたよな〜。ていうか卒制展まで作品が間に合ったら、花土先生言いあげたこと謝るってようたのにまだ謝ってもらってないわあ〜。」N「まじで?え〜うそ〜。ちゃんとやったことは守らんといけんよな。」F「だよなあ、卒業式までにはいってもらお。」N「でも花土先生、文化祭の映像エーの作とったよな〜。あれはスゴイと思った。あの時期先生寝てなかったもんな。」F「ファッションショーのパンフレット作る時とかも色んな先生にお世話になったし、仁木先生も11月から短い間だったけど、マイコのショーの事とか協力してくれてすごい助かった。」N「時々下ネタの話するけどな。」2人(笑)F「だよな〜言う時あるな〜。」N「1年間このクラスで色々あったけど、もううちら3年なんだよな〜。」F「そうで、もう卒業じゃ。」N「全然実感ないんじゃけど。」F「皆と離れるの寂しいなあ……。卒業してもけいよん遊ぼうや〜。」N「うちも滋賀県行くけん。」F「きんちえ。」N「行く行く。あっそう言えばなあ……。」F「何〜?」……。K「すいませんでした。ごめんなさい。」(そんな約束したかなあ……)

(平成14年3月 環境デザイン科3年生)

良かったな (技3)

私たちが弓削高校に入学してはや3年が過ぎようとしています。今、振り返ってみるとたくさんの思い出があり、楽しいことばかりが思い出されます。まずは、2年生の修学旅行。東京に行き、ディズニーランドで遊んだり東京タワーを見たり、人の多さにビックリしたり、外国人に突然声をかけられたり……。かなり楽しかったな〜。そして忘れられないのが文化祭の劇「マトリックス」。主人公のアクションのかわさでかなりの好評をもらいました。3年生では、農機センター実習。昼はフォークリフトやバックフォアやショベルローダに乗る研修、夜はみんなで大暴れ(秘)。

楽しかったな〜。体育祭では、3年生の貫禄を見せつけ総合優勝。文化祭では、キャベツいっぱい具だくさんの焼きそば屋。「ミスターポポ」(店名)の前には、お客さんの行列ができ大好評でした。とりあえず技3はとても楽しいクラスでした。みんな卒業してもずっとずっと良き仲間でありたいです。

(平成16年3月 環境技術科3年生)

部・同好会紹介

現在、陸上競技部は先輩達が引退して2年生8名、1年生2名の部員達で楽しく、ときには厳しく活動しています。元キャプテンの清水先輩はおもしろく、ポケ・ツッコミで楽しい雰囲気をつくってくださいました。3年生が引退して寂しさはありますが、熱血顧問の河本先生を始め、元気一杯の部員10名で毎日コツコツと頑張っています。

練習はそれぞれの種目の専門練習やサーキットトレーニングなどで体とともに心も鍛えています。さらに、他校との合同練習や合宿、県内外の練習などさまざまな活動をしています。又、今年は柵原町へ部員全員で合宿に行きました。柵原町まで全員で走って行ったのですが、9名全員完走することができました。そこで、努力すれば必ず結果が出るということを知り、チームのモチベーションも上がったような気がします。

今は春のシーズンに向けて日々練習に励んでいます。シーズン中は試合が多くて忙しいですが、とてもやりがいのある部活だと思います。一人一人が自分の目標に向かって頑張って、きつい練習に耐えています。最後までやり抜いた時、練習をしていい結果が出た時等々、とても達成感のある部活だと思います。又、それぞれ今までに何度もくじけそうになりましたが、お互いに励まされて皆頑張ることができました。

さて、4月には新入生も入ってきます。10人では寂しいので、さらに10人くらいは入部して欲しいと思います。

元気いっぱい、意欲いっぱいの陸上競技部を応援よろしくお願いします。

(平成17年3月 陸上競技部2年生)

